

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
36403	デッサン Dessin	小山田 尚弘		専門	1	選択	1・2前期
科目の概要							
<p>油絵・日本画・彫刻などの美術作品やデザイン作品を制作する上でデッサンは基礎となる大切なものです。この授業では、できるだけ幅広くデッサンの基礎力が身につくように多種類のデッサン技法の習得を目指します。この授業で学ぶデッサンの種類としては、鉛筆デッサン・淡彩デッサン・クロッキーなどのデッサンを学びます。授業をとおして、建学の精神や社会人基礎力を身に付け、独自の表現ができるように潜在能力開発に努めてほしい。</p>							
学修内容				到達目標			
<p>① デッサンの基本技術の習得。 ② 鉛筆や水彩などの淡彩について学ぶ。 ③ 質感や量感について学ぶ。 ④ 鉛筆のクロッキーの習得</p>				<p>① 基本的なデッサン力を身につけることができる ② 色鉛筆や水彩などの淡彩について理解でき上手に描くことができる ③ 質感や量感について自由にデッサン表現し描くことができる ④ 鉛筆のクロッキーの技術を身に付け、短時間で上手に対象物を描くことができる</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏 み出す 力	主体性	予習や授業の中でわからないことがあれば、そのままにせず教員に質問をして解決した。					
	働きかけ力						
	実行力	失敗やトラブルがあってもあきらめず、目標達成に向けて行動した。					
考え抜 く力	課題発見力	自分の学修上の問題点の解決策を考えた。					
	計画力						
	創造力	授業で修得した事を応用して、新しい発想のもと課題に取り組むことができた。					
チーム で働く 力	発信力	質問事項を話だけで伝えるのが難しい場合には、紙に描いて説明した。					
	傾聴力	教員から聞いた話の中で分からない点があればそのままにせず、確認した。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	無断欠席をせず、授業を円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
<p>テキスト：必要に応じてプリントを配布する 参考文献：なし</p>							
他科目との関連、資格との関連							
<p>他の科目との関連：色彩と表現、基礎デザイン、染色デザイン 資格との関連：なし</p>							
学修上の助言				受講生とのルール			
<p>・形や質感など、じっくり見て描くことがデッサンを上達させます。 ・できるだけ形を正確に描くことが基本となります。 ・鉛筆は、3Hから6Bまでのものを準備して描くと、細かな濃淡の差が描けて良い作品に仕上がると思います。</p>				<p>・出席が必要日数に満たない場合は無資格となる。 ・欠席や遅刻の多い学生・授業態度の悪い学生はマイナスに評価する。 ・作品の提出期限を過ぎての提出は認めない。 ・作品の制作点数は5～6作品くらい仕上げます ・授業で使用する画用紙や鉛筆、消しゴム、練ゴムは各自で準備すること。</p>			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト			①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート					①	
							②	
							③	
							④	
							⑤	
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)		90		①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10		①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤				
総合評価 割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A：制作課題に対して、一生懸命に制作に励み、デッサンの技法に優れ、完成度の高い作品として仕上がっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テクスチャーや空気遠近法なども表現できている。 ・練ゴムの使い方も上手である。 ・クロッキーの描き方も早くと確に描ける。 <p>S：上記の基準に加えて、積極的な受講態度が見られ、作品は多くの学生から高い評価を得ている。・デッサンの知識や技術などが一定レベル向上していて大変素晴らしい作品である。</p>	<p>B：制作課題を完成できており、デッサンの知識や技術(練ゴムの使い方、空気遠近法など)は一定レベルに達しているが、作品の良さや魅力をあまり感じない。</p> <p>C：制作課題を提出できた。(先生の指示を受けないと制作を進めることができない。作品の仕上がりに粗雑なところがみられる。デッサンの知識や技術が未熟。)</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 授業の内容やスケジュールなどについて説明します。参考見本などを見せながら制作の説明をします。自分の手をデッサンして仕上げる。	講義と質疑応答	授業についての取り組みを理解する。デッサンの概要を把握することができる	(復習) 授業の内容について説明した内容を復習する デザインや色彩の計画を行っておく	90	主体性 規律性 傾聴力 実行力 発信力
2週 /	基礎技術の修得① 鉛筆の持ち方、鉛筆の種類、練りゴムの使用法穂について説明する。立体の描き方法について学ぶ。画用紙で立方体を2個制作する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	鉛筆の持ち方、鉛筆の種類、練りゴムの使用方法について理解できる	(予習)立体の描き方法について復習し理解しておく (復習)鉛筆の持ち方、鉛筆の種類、練りゴムの使用法穂についてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題 発見力
3週 /	基礎技術の修得② デッサンの構図の取り方、立体表現、影の描き方、ボリューム感つけ方、対比効果、などについて学習する。学生の個性や長所などが伸ばせるように指導する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デッサンの構図の取り方、立体表現、影の描き方、ボリューム感つけ方など意識して描くことができる	(予習)空き時間にデッサンの練習を重ねて描いておく(復習)デッサンの構図の取り方、立体表現、影の描き方、ボリューム感つけ方、対比効果、などについてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題 発見力 実行力 傾聴力
4週 /	質感表現① ビン、紙、布、などの異質な質感のモチーフを組み合わせて描く。影の表現方法や距離感などについても学ぶ。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	ビン、紙、布、などの異質な質感のモチーフを組み合わせて描き、影の表現方法や距離感などについて練習できる	(予習)影の表現方法や空気遠近法などの距離感を出す練習をしておく (復習)ビン、紙、布、などの異質な質感のモチーフを組み合わせて描く、影の表現方法や距離感などについてまとめる	45 45	主体性 課題 発見力 創造力 傾聴力
5週 /	質感表現② 仕上げに向けての手順計画など、学生個々の進度に無理がないか確認しながら授業を進める。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する	仕上げに向けての手順計画などまとめ確認し練習できる	(予習)練りゴムを使ってたくさん描き込んでおく。存在感、実在感など表現できるように練習する (復習)仕上げに向けての手順計画など無理がないか確認する	45 45	主体性 課題 発見力 発信力 傾聴力 創造力
6週 /	計画と手順 計画どおりに描けているか、問題点となるものはないか、一人ずつ確認して指導していく。さらに、画面構成の方法や存在感などについても学ぶ。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	計画どおりに描けているか、問題点となるものはないか確認しながら仕上げ描く事ができる	(予習)質感や量感について理解できるまで描き込んでおく (復習)画面構成の方法や存在感などについてまとめる	45 45	主体性 課題 発見力 発信力 創造力
7週 /	色鉛筆のデッサン ペットボトル、ハンカチ、小物、ガラスコップ、シャープペンシルなどを組み合わせて仕上げる。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	ペットボトル、ハンカチ、小物、ガラスコップ、シャープペンシルなどを組み合わせて仕上げるることができる	(予習)異素材などの質感の表現は鉛筆の濃淡の鉛筆を使い分けて表現し仕上げる (復習)ペットボトル、ハンカチ、小物、ガラスコップ、シャープペンシルなどを組み合わせて仕上げデッサンの基礎技術の修得についてまとめる	45 45	主体性 創造力 傾聴力 課題 発見力 発信力
8週 /	色鉛筆の技法 色鉛筆の色の塗り方、デッサンのまとめ方法などについて学生個々に説明する	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	色鉛筆の色の塗り方、デッサンのまとめ方法などについて確認することができる	(予習)色鉛筆に使い慣れるよう練習を重ねておく (復習)自分のデッサンの良い所と欠点についてまとめ、欠点は良くなるように努力して改善に努める	45 45	主体性 課題 発見力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	色鉛筆デッサン バランス、影の描き重ね方法、空気遠近法などによる遠近感、画面の強弱のつけ方も学ぶ	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	バランス、影の描き重ね方法、空気遠近法などによる遠近感、画面の強弱のつけ描くことができる	(予習)空気遠近法など遠近感の練習をしたり、画面の強弱の表現の練習を重ねておく (復習)バランス、影の描き重ね方法、空気遠近法などによる遠近感、画面の強弱のつけ方についてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題 発見力 実行力
10週 /	デッサンとクロッキー① デッサンするモチーフ数を増して描いてもらう。扇風機などを使ってクロッキーで仕上げる。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デッサンするモチーフ数を増して描く。扇風機などを使ってクロッキーで仕上げるができる	(予習)全体的に描く書き込む練習する(復習)デッサンするモチーフ数を増して描いてもらう。扇風機などを使ってクロッキーで仕上げについてまとめる	45 45	主体性 課題 発見力 創造力
11週 /	デッサンとクロッキー② 大学の中庭にある木をクロッキーで仕上げる。仕上げ時間は5分間、3分間、1分間と少なくして早く描けるように練習する	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	大学の中庭にある木をクロッキーで仕上げる。仕上げ時間は5分間、3分間、1分間と少なくして早く描けることができる	(予習)クロッキーの練習では細やかな形より大きく形を捉えて描ける練習をして描き上げる (復習)仕上げ時間は5分間、3分間、1分間と少なくして早く描けるように練習しておく	45 45	主体性 課題 発見力 創造力
12週 /	デッサンとクロッキー③ 学内の建物などをクロッキーで、短時間で仕上げる。水彩絵の具、ポスターカラーなどを薄く塗って仕上げる	デッサンとクロッキー③ 学内の建物などをクロッキー技法を使い短時間で仕上げる。水彩絵の具、ポスターカラーなどを薄く塗って仕上げる	学内の建物などをクロッキーで短時間で仕上げ、水彩絵の具や色鉛筆などを薄く塗って仕上げるができる	(予習)水彩絵の具や色鉛筆など使い深みを出せるように練習を重ねる (復習)デッサンの基礎技術の修得についてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題 発見力
13週 /	デッサンとクロッキー④ 形が正しく正確に描けているか。質感表現やボリューム感などに問題はないか、一人ずつ確認する	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	質感表現やボリューム感な上手に描く練習を重ね、上手に描き上げることできる	(予習)デッサンやクロッキーの練習を自宅でも行い上達できるように練習する(復習)形が正しく正確に描けているか、質感表現やボリューム感などについてまとめる	45 45	主体性 課題 発見力 実行力 創造力
14週 /	デッサンとクロッキー⑤ 鉛筆淡彩の仕上げ方法について解説する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デッサンを色鉛筆で仕上げるができる	(予習)鉛筆淡彩で描く練習を繰り返し練習しておく (復習)鉛筆淡彩の仕上げの方法についてまとめる	45 45	主体性 課題 発見力 実行力 創造力
15週 /	まとめ 学生が授業で仕上げたデッサンを並べて批評する。上手に見せるにはどうしたらいいかなど解説する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デッサンやクロッキーを数多く描き良い作品に仕上げることができる	(予習)デッサンとクロッキーの技法や知識についてまとめてくる (復習)デッサンの基礎技術の修得についてまとめる	45 45	主体性 課題 発見力 傾聴力 規律性 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力